

開設に向けた流れ

「思いがあれば、子ども食堂や子どもの居場所はある」ともいわれますが、誰もが順調にできるわけではありません。そこで開設に向けた大まかな流れを、運営団体のみなさんの声からまとめました。

*詳しい内容については5章をご覧ください。



STEP 1 始めてみたい、と思ったら

なぜ始めて
みたいのか?
考えてみる

▶ **自分の思いや考えを整理・確認することは大切です**
なぜ他の取組ではなく、子ども食堂・子どもの居場所なのか? 実際に開設した団体はそれを明確にしています。

▶ **まわりの人に、考えていることを話してみる**
まわりの人に話をすると質問が出てくると思います。答えているうちに「なぜなのか」「どうしたら始められるか」具体的な姿が見えてくるでしょう。

子ども食堂や
子どもの居場所に
参加してみる

▶ **いろいろな子ども食堂や子どもの居場所をのぞいてみましょう**
実際に利用してみると、新聞やテレビで見ていたことと、違うものが見えてくるかもしれません。まずは普通に利用して、一緒にご飯を食べたりしてみましょう。
その中で「この活動が好きだなあ」と思ったら、できればボランティアとして参加してみましょう。利用する側と運営する側でも見えることは変わってきます。そこで「思い」がさらに整理・具体化されるはずです。



STEP 2 やっぱり子ども食堂や子どもの居場所を始めよう!と思ったら

一緒に運営できる
仲間をさがす

▶ **一人でできることには限界があります**
仲間ができると、その友人、さらにその友人から力を借りることができます。

企画を考える

▶ **いつ、どこで、いくらで、どうやって**
仲間と一緒にやりたいこと、できることを考えてみると様々なアイデアが出ると思います。
できない理由でなく、できる手段がないか考えるようにしていくことで、「企画」が練り上げられていくはずですよ。

企画書(案)

- | | |
|--------|-------|
| ●目的・目標 | ●資金 |
| ●開催日時 | ●人手 |
| ●開催場所 | ●安全管理 |



STEP 3 1回目開催に向けて準備をする!

外部に向けた企画書をつくってみる



企画書をもって地域のみなさんや保健センター・保健所に相談する



運営初日に向けて準備する



▶ 企画書を具体的にして、外部の人たちに見てもらえるようにします

▶ 地域の学校や町内会、民生委員・児童委員さんなどに、挨拶や相談をして、活動への理解を得ます

▶ 運営場所のようすがわかるものをもって、区の保健センターや保健所等に相談します（食品衛生法による営業許可が必要な場合もあるため）

▶ 様々な意見や、アドバイスを受けて、企画を練り上げて、初日に向けた準備を進めていきます

▶ 主な準備

<input type="checkbox"/> 予算や収支を考え、利用料を決定する	<input type="checkbox"/> 必要な保険に加入する
<input type="checkbox"/> 備品・消耗品を用意する	<input type="checkbox"/> 看板やチラシ、SNSなどを 用意し、地域にお知らせする
<input type="checkbox"/> 会場レイアウトを決める	<input type="checkbox"/> 子ども食堂・子どもの居場所の 仲間にお知らせする
<input type="checkbox"/> 運営のルール・受付の手順を決める	<input type="checkbox"/> アンケートを用意する
<input type="checkbox"/> 運営初日の企画を決め、進行表をつくる	<input type="checkbox"/> 地域に向けて、プレオープン してみる
<input type="checkbox"/> スタッフの体制を整える	…など

前日に最終打合せ、段取りや流れ、備品の最終確認を行って、当日を迎えます（5章参照）。



STEP 4 1回目が終了したら

2回目以降に向けて

▶ 1回目終了後に、できるだけ早く「ふりかえり」を行います
・よかったことや、課題・問題を整理して、次回以降に活かします。
・アンケートを集め、結果をまとめてスタッフや地域の方にお知らせします。

▶ チラシやSNSなどで1回目の報告を行い、地域の方にお礼を伝え、2回目に向けた準備を始めます

▶ 人手不足のときは、参加いただいた地域の方をボランティアにお誘いしてみてもいいかもしれません